

10代の意見

教科書が足りず

3人で1冊使う

◇私はラオス研修を通して「当たり前」という言葉について考えさせられました。特

に2日目に訪れた現地の小学校で二つの当たり前を発見することができました。一つ目

は日本の「当たり前」はラオスの「当たり前」ではないということです。ラオスは先進国である日本とは異なる発展途上国で、校舎には冷房がなくとても暑い状態だったり、

授業で使う教科書が人数分なく、1冊を3人で読みまわしていました。

ていたりするようで、私が日々教科書やノートを使っている学校に行っていることは当たり前ではなく、幸せなこと

となのだと実感することができました。

◇二つ目は、私たちが守らなければいけない「当たり前」です。生徒たちとの交流会でスイカ割りをした時に、割れた土の付いたスイカをめぐって走り、おいしそうに食べる子供たちがいました。普段の私なら汚いから食べないか、水で洗ってから食べるといふ選択をとります。しかし、この学校では井戸にたまった雨水を使っているため、水は最低

限のことにしか使えず、スイカを洗うこともできません。◇この様子を見て、「食べ物や物を粗末にしない」と「水を大切に使う」という本心に当たり前のことを学ぶことができました。頭で理解をしてもなかなか行動に移すことができなかった私ですが、この機会を通して少しずつ目を向けていくようになれました。ラオス研修に参加したことで「当たり前」への意識を変えることができて良かったです。

(山梨英和高3年・工藤日和)